

令和3年度 暮らしの川柳について

主催：川崎市老人福祉施設事業協会

後援：川崎市

1 テーマ

高齢者やその御家族、施設等の現場で高齢者と触れ合う職員らの何気ない日常の一幕

2 募集対象者

事業協会会員施設の入居者又は利用者及びその御家族、施設職員、ボランティア等
※1人3作品まで

3 募集期間

令和3年6月17日から令和3年10月31日まで



4 応募作品数

153作品

5 協会ホームページへの掲載及び投票の期間

令和3年11月15日から令和4年1月31日まで

作品	ペンネーム	賞	備考
名も知らぬ あなたにいつも 助けられ	はらぺこディーバ	最優秀賞	20票
おぞう煮を 施設で食べる うまさかな	渥子		
白球へ 力のかぎり 投げてみせ	きのと	優秀賞	8票以上
寝ていると どこから聞える 天の声	うっちー		
コロナとは おそろしき記録 朝こわい	きのと		
盆迎え 故郷しのぶ 母の味	まさ		
さらさらと 水の流れに 春が来る	まさ		
ガラス越し 曾孫の掌 初出会ひ	晶子		
目が覚めて 一番乗りで せいしき巻	おばあーちゃん		
古き家 中から見える 父母の顔	お嬢	秀作	5票以上
服薬し 数分後には あれ?飲んだ?	たたみ上手		
コロナで子供孫にも 逢ず夢を見て 癒める	渥子		
てつや君 朝食食べて また仕事	まさ		
トランプの ババヌキしてる ババア達	トミー		
鳥の分 残しておくよ 庭の柿	きよみかん		
まどごしに てとてがふれる かぞくあい	不二fuji		
雪の里 湯沢野の宿に 雪がまう	渥子		
帰るまで しゃべりどうしの そのすごさ	マロンマロン		
としをとり こどものせわに なっています	貞子	佳作	3票以上
ここちよい 誰の手かしら まごの手よ	喜代子		
といかけに となりのひとが へんじする	リョーコ		
コロナ禍で にぎやかになる しょくじ時	すーさん♡		
スタッフの 頑張る姿 今日もまた	匿名		
おはよう 職員さんの声 施設に朝が来た	喜代子		
同じ年 若く見えるは この私	青田の蛙		
誰のため マスク手洗い 君のため	正春		
窓越しに ひ孫のダンス 観て踊る	マック食べたい		
はちかいめ たんじょういわい おだかさと	みつこ		
ちやほやと 年をとるのも いいもんだ	ヒロちゃん		
歯はないが 食べたい カツ丼甘い物	スズ		
こしいたい いたいしたいの ひとことで	貞子		
としをとり うれしかなしき どちらかな	貞子		
便利な 努力を忘れる 日常生活	スダモウ		
駆け足で 終りにしよう オリンピック	二郎		
一階の外娘さん 三階の窓から手を振る お母さんかなしきかな	えんどう		
お帰りと 笑顔に安堵す 終の家	登志		
コロナ消え 家族面会 楽しみに	青田の蛙		
介護とは ほめておだてて 忘れさせるもの	八重子		
シニア野球 オーイそっちは3塁だ	八重子		
ひとやすみ 坂道のぼる アルナ園	ムツ		
化粧も マスクのおかげ 手がはぶけ	正春		
変わったね 昔は麦酒 今、麦茶	M. M93		
限界を マスクにかける たよりなさ	美佐		
冷たき眼に 睨まれ気付く マスク無し	美佐		
他人様に マスクあげるは 我のため	美佐		
何したい? やりたいことが 分からない	黒帽子かぶる子		
コロナ禍で GOTOトラベル 夢の中	おだかのブルーツリー		
惚けるなと 言った息子に あんたこそ	武田		
槍ヶ岳 大正池に うつる僕	ミチヲ		
我が家の 雨戸を開けし 夢を見る	九州ダンディ		

何でだろう 肉おちるのに 腹はでる	早起きおキヨ
老人の 一人ぐらしも おつなもの	ミフ
ありがたや 今日も健康 一二三	よしこちゃん
秋風に 夏のなごりの 虫の声	えい子りん
寒いので おでんにしろと 父が言う	あみあみ よしえ
今朝も晴れ なにをしようか 考える	あみあみ よしえ
読書秋 本を開けば 眠くなる	清勇
櫻散る 葉のトンネルを 通りぬけ	みその
クリスマス 正月来いと まちどうし	みつ
あかあかと 燃ゆるがごとき タやけよ	智枝子
KATさん トイレの肥やし 貰ってく	智枝子
朝顔を 残らず摘んで 笹に盛り	ズンバ・セニョリータ
紫陽花を 数え 日暮らし どこまでも	ズンバ・セニョリータ
洗っては干す 幾度も どこ吹く風	ズンバ・セニョリータ
介護所の湯 南天の赤で 熱くなり	ひろし
今日の空 右から左へ 動いている	しまおか
青空に 顔を向けては にが笑	しまおか
朝顔や カキ根を親と つるを巻き	里雪
職員の 優しい言葉に いやされて	ふみ
からふるな マスクをかけて お散歩に	ふみ
よくがんばった 我が手に見入る 夏の夜	喜代子
コロナ禍で 稼ぎが減って 腹がでる	久ちん
どこいった さがす耳せん 首にかけ	久ちん
歯科医院 入歯わすれて ワッハハー	トミー
怒られて 娘に詫びる おとうさん	トミー
孫の部屋 急に片付く もしや結婚？	ニコニコバーバ
家族愛 コロナのおかげ より強く	正春
その介護 受けた自分は 満足か	信雄
歳とともに 涙こらえて 指でふき	白井
今在る命は アメリカ兵の 残り飯	誠（せい）ちゃん
何事も コロナのせいと ウヤムヤに	ヒロちゃん
老いて行く ドクター頼らず 努力かな	シャロン
中秋の 名月に見る 友の顔	MiCHiKO
ウイルスの 不安を除く 日は何時か	ちえちゃん
部屋ばかり 座っていても ゆううつだ	ちえちゃん
3年目 またあえたよ コロナちゃん	お嬢
目の先に アサガオの花 きれいだね	早起きおキヨ
母のゲタ はいてトマト もぎにけり	ハタハタ食べたい
フルーツの 好きな彼女は 百近く	ぶどう娘
今日もまた 待ちぼうけ またさびし	みいちゃん
初物を いとしき人と 食くしたい	ミフ
わしがみね 住んで私は 50年	お姉ちゃん
雨降りに 姉が来たので うれしいね	あみあみ よしえ
バス降りて バナナに見えし 銀杏かな	みその
祝い菓子 安堵の笑顔 目に浮かぶ	智枝子
春終り 桜散る散る 揚羽舞う	智枝子
ごっくんと 喉もと通る その姿	匿名
救急車 今夜は空車で 戻り行く	ひろし
公園の 二輪車遊ぶ 白シャツの児ら	晶子
白雲は 富士山のごと 窓辺暑し	晶子
今日の空 きのうの空と チットちがう	しまおか
ツバメトぶ 昔なつかしの 小学校	里雪
お仲間さんがお習字を書き 廊下に貼ってある 車椅子の方にも見せてあげて	えんどう

買い換えし スマホで送る 老いし顔	登志
コロナ禍で 会えないつらさ マックスに	きょうティー
スタッフの 恋バナ聞くのは 楽しけれ	きょうティー
スタッフさん パット交換 パパッとね	きょうティー
風を切り 右に左に 駆けまわり	青田の蛙
大谷さん 今日も打ってよ 特大アーチ	八重子
精一杯 力のかぎり 生きてゆく	ムツ
いそぎ足 心おだやか 暮す夫婦	ムツ
アルナ園 友達と一緒に 楽しいな	八重
抜歯すまし マスクでかくし すましがお	ニコニコパーバ
将来の 我身を思って 介護する	信雄
あけびたべ たねがおおくて たべにくい	しずかごぜん
故郷に 思馳せる 吾亦紅（ワレモコウ）	静香御前
しずかなる ほんをよむせに あきのひに	しずかごぜん
晩年の 望みはなんぞ 旨か食	白井
親の歳 越えて長生き 幾年月	白井
敬老日 おじいちゃんたち 嬉しそう	ケンちゃん
街明かり コロナ禍でも 温もりが	ケンちゃん
秋がきた 柿が実った 食べたいな	リツヒメ
さつまいも ふかしてやいて おいしいよ	イチローの母
春の月 思い出すのは 清き海	インテリ ペーパー
しじょうの つちぎくにたえ しゅごがいる	ヨシオ
早く来い 桜咲くころ あったかい	ツイコ
ねこひかり かぼちゃおどる ハロウィンだ	順慈
昔ほど 上手くかけない 花絵画	七色 洋子
突然の 怪我で入居は くやしいな	のりちゃん
コロナという 得体のしれぬ 菌におびえ	のりちゃん
コロナ禍い いつまでも続く この秋の夕暮れ	しぎんのまこと
おぢいちゃん この果物「一切り」欲しいな 願いたる	しぎんのまこと
花の絵を 書いてと頼んで 鼻の絵に	ごんざぶろう
寝化粧し 明日の自分に 会うために	武田
病む足に 履けない靴が 出番まち	武田
疲れた身の 心を癒す サルビアの花	シャロン
老いの身に 大事なたから 貼りぐすり	MiCHiKO
アメニいく おさんぽいくり オセロ大好き	ちゅうりっぶ
こゝに来て こんな思いを するなんて	ちえちゃん
かぜふくな 今日楽しい パレーあり	お嬢
見上げれば ツツピツ歌う 春木立ち	東 百合夫
秋もすぎ 人恋しや ぬくもりが	ミフ
軒下の 誰の私作か 秋野菜	きよみかん
いそいそと はげむ心も 明日はデイ	きよみかん
新首相 実行力が 問われます	清勇
震度5で 交通インフラ マヒとなる	清勇
楽しみは 肌がすべすべ 風呂上がり	風呂好き
体操は みながんばって 楽しんで	風呂好き
温暖化 二酸化炭素で ノーベル賞	あげひばり
観光地 食べ放題でも 閑古鳥	あげひばり
コロナ疲れ 蝉が励ます 民民と	あげひばり
秋の夜に ゆらゆら浮かぶ 月の影	みその
秋ふかし 世話してくれる かんごしさん	そのちゃん